広報みしまへの要望と市からの回答

先月号で紹介しました「公報を読み合う会」が広報みしまを制作している広報広聴課に質問したところ、早速回答を頂きましたので報告します。読者の皆さまの感想もお寄せいただけたら幸いです。

①「なくても良いと思われるカラー写真が多く、必要以上に大きく紙面を使っている」との指摘について

A　平成29年1月1日号から右綴じ・縦書きとリニューアルした広報みしまは、写真を多用し、できるだけ文字数を少なくすることをめざしております。

一般に流通している情報誌、月刊誌、週刊誌などは従来から同様の編集方針を採用しており、特に目新しいものではありません。むしろ、市民の皆さまが日常目にしている冊子等と同様の編集方針に合わせたものと考えております。

現代の編集においては、〈ビジュアル→キャッチコピー→内容〉という方法が、読者にとってインパクトを与える効果的な編集であるといわれています。

広報みしまの読者には、貴会のような熱心な読者から、ときどき見る程度の市民まで、十人十色です。そこでもっとも重要な「内容」に少しでも興味を持ってくださるよう、まずはその掴みとしてビジュアルである「写真」を最重要なツールと考え、更にキャッチコピーで興味を持っていただき、内容は、極力コンパクトにまとめ、最後まで目を通していただくという意図があります。当課としては、人にフォーカスした写真を多数掲載することで、市民にとってより身近な親しみのある広報となるように考え掲載しております。各担当者が自己研鑽に努める中で、より伝わる広報の発効に向けてできる限り改善をしてまいります。

②「市議会だよりも同様にカットが多い」について（回答：議会事務局）

A　貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。

議会だよりは、議員により構成される議会だより編集委員会にて編集方針を決定し、三島市議会が発行しております。いただいたご意見は議会だより編集委員会に申し伝え、今後の参考とさせていただきます。

③「縦書きと横書きが混在していてまとまりが無く集中できない」とのご指摘について

A　現在、縦書きと横書きの併用は新聞や雑誌においても多く見られる手法となっており、その利点として、「紙面が単調になり、目が滑るのを防止する」「情報のすみわけが容易である」ことなどがあげられます。

併用により、まとまりがなく集中できないというご意見つきは、真摯に受け止めさせていただき、今後、読者のみなさまが受けるそのような印象を少しでも払拭できるよう効果的に併用を進めてまいりたいと考えております。

【ひとこと】

意図して紙面づくりをしていることは分かります。しかし広報の目的は雑誌とは違い、市民に知らせる事をダイレクトに伝えれば良いのではないのでしょうか。見ず知らずの方の大きな写真は必要を感じません。

続きの回答は次号に。〈S〉

身の回りの化学物質を排除する

ひとりひとりが、本気で地球への負荷を減らす生活に切り換えよう！

私たちは地球の一員。土を覆い、水や空気を汚し続けて、子どもたちに未来を残せるのか。もう時間がない。誰かに言われたからではなく、自主的にひとりひとりが心を決める。やれることから今すぐに変えよう。まずは合成洗剤を一切やめる。農薬なしの食材を選ぶ。薬や医者に頼り過ぎない。今年は花粉がひどい。アトピーや過敏症・花粉症対策として、柔軟剤や合成洗剤をやめると、症状が軽くなることもある。柔軟剤で過敏症になる人が急増している。

当時は会場内に官憲が乗り込み、弁士の演説中止や集会解散の権限が「治安警察法」によって与えられていた。この法律は後に「治安維持法」に強化されていった。

これら福島義一や渡辺太郎らの活動は岩に染入る水のように社会主義の思想がじわじわと大衆の中に伝わって行った。

1923年5月頃、大宮町（富士宮市）の日本ペニー大宮工場（後の近江絹糸）で労働争議が勃発、当時従業員は1700名いたが、解雇者21名を出す大争議に発展した。その争議の中心人物は谷川常三であった。

（以下次号に続く）

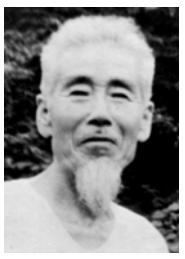
県東部労農運動家列伝（2）

福島　義一　②

「旗と花と歌ごえと」　著者田中延雄より

1920年頃、福島義一は沼津の山口医院に寄食していたが、その後、狩野川近くに一戸を借りて青年労働者を相手に身に付けた英語力を生かし夜学を開いた。その他にも社会主義思想の講義も行った。この夜学には沼津中学に入学したばかりの、戦後、日本共産党中央委員、アカハタ編集局長にもなった松本一三なども顔を出していた。

また、山口伝吉医師と渡辺太郎の3人で相談しビラを作成、工場、農村、三島の野戦銃砲連隊宿舎の中にまでビラを撒いた。更に、渡辺太郎は沼津機関庫の労働者に対して熱心に組織化をはたらきかけていた。その頃、たまたま、二人の乗務員に対する絞首問題が発生し、これがきっかけになって運動が急速に盛り上り、1921年2月1日、



1968年頃福島儀一

大日本機関庫乗務員会の下部組織として沼津支部が結成された。しかし、これは警察の猛烈な干渉、弾圧でわずか二週間ほど解散させられた。

1920年には、駿東郡富岡村千福（裾野市）に150名からなる郡下で最初の小作人組合が結成され、1921年に入ると駿東郡大岡村日吉（沼津市）田方郡錦田村（三島市）などにあいついで小作争議が延生した。

政治演説会なども各所で開かれ、後に右翼の凶刃に倒れた山本宣治や、後に共産党書記長となる徳田球一なども、当時は若いオルグとしてこの地に姿を現わすようになった。

1923年5月、沼津の市場町にある八幡宮を会場にして、静岡県下初めてのメーデーが福島義一や渡辺太郎らによって開催された。講師は東京から呼んだ、早大学生・建設者同盟（早大の学生を中心に浅沼稲次郎や三宅正一等によって組織）の稲村隆一であった。演題は「メーデーのいわれ」についての話しだった。参加者は近隣の小作争議の農民や印刷所の職工、紡績工場の女工等で百人位が集まり、初めてのメーデーにしてはまずまずの成果であった。

3・11を忘れない
ビヨンド・ザ・ウエイブス　映画上映会
森住卓福島写真展

当日は朝早くから会場の設営をしに集まってきた。森住卓さんの写真「風下の村」や「福島、放射線をみる」の写真も、組み立てたパネルに次々と掛けていく。白くきらきら光る斑点は、放射性物質のセシウムの微粒子が物体に付着し、放射線を出している様子。まるで夜空の星のよう。本来そこにあってもわからない放射線が、写真によって美しく視覚化。きらきら光るカエルや手袋は人間の姿でもあり、現実を突きつけられる。

「ビヨンド・ザ・ウエイブス」はベルギーの監督による山本太郎のドキュメント映画。内容もさることながら、色彩の美しさが際立つ。本来国会議員なら国民の立場に立ち真実と向き合い発言しなければならないのだが、闘うのは山本太郎ただ1人。これが日本の現状なのだ…。65分の上映の後は参加者によるフリートーク。

「私たちの生活と福島や沖縄、政治といったものがかけ離れている。小さな力だけど周りの人に話しにくいことも話していきたい」「社会問題のほとんどがお金の問題。本音で生きていけるようなお金の仕組みに変えたい」「選挙に頑張るべき」「国会のことを知らせる活動が必要」「山本太郎は頑張っている。彼が国会でも情熱的に活動していることを知った」「安倍政権の9条をなくす動きに危機感を抱いている」「放射能汚染防止条例を作り浜岡を止めたい」「健常者も障がい者になることを忘れている」「地域の人々と繋がり、支援する気持ちを持って買い物をし、戦争や原発推進企業にはお金を出さない等自分から変わることが大事」等活発な意見が出た。

小さな会ではあったが、とても有意義な、忘れられない1日となった。

日本会議とは何か

安倍信三・麻生太郎ら現閣僚のほとんどが所属する「日本会議」。日本会議が日本を支配しているとも過言ではない。この日本会議とは一体何なのだろうか。

前身は日本を守る国民会議で1997年に設立された。霊友会、神社本庁、天台宗、崇教真光など神道系、また自民、維新等の多くの右翼的政治家が日本会議に加わっている。全国に4万名の会員がおり、自主防衛を掲げ「憲法改正」を目指す。特に「軍事力増強」「緊急事態条項」「家族保護条項」の条文化を重視する日本の保守団体である。

1968年当時、左翼学生運動に対抗し、民族派の学生達が日本青年協議会（日青協）を組織した。その中心部の者達が「日本会議」設立に尽力し、日本会議の事務局は「日青協」という右翼団体が動かしているとされる。この日青協人脈が日本会議の中核をなし、安倍政権に深く食い込んでいる。

菅野完著『日本会議の研究』から

郷土の文学碑（2）

斉藤静子　著
「紙ふうせん」より

怪物

戦地で　日本兵同志　けんかになった
竹やりをつき　ひとりが死んだ
家族にきた　知らせは
名誉の戦死
戦争という　囲いのなかで
怪物が　とほうもなく　大きくなる
戦争で　なにかも　使いはたし
物資は　なくなり
こんなことを　考えたのは　だれ
こんなことを　実行させたのは　だれ

《　季節の話題　》

谷田の澤田さんの庭にはこんな大きな文旦がなっています。

10年前に苗を植え、実がなるようになったのは、4～5年前から。気候がよいためか、特に手をかけなくてもすくすく育ち、実の数も毎年増えている優等生です。味は八朔に似ているそうですよ。

ミネラル酵素ドリンク教室
御予約にて開催いたします
費用　3500円（材料費を含む）
連絡先　駿東郡清水町徳倉　あんさ
電話：070-6410-7538（こうの）

雪ノ下は
三島近辺の食材の美味しさに
感動したことからはじまりました
次は三島の地に私達が感動を与えます
近藤正文と薫
銀座の有名店雪ノ下が三島に！
「雪ノ下 近藤正文&薫」
三島広小路に4月下旬オープン！
オープニングスタッフ募集中！
最低賃金1000円の求人です。
18歳以上の方。
お問い合わせは
直通 080-8317-0002
三島ライフ ホームページ
mishima.life
雪ノ下 cafe&sweets

ひろばパソコン教室のご案内
デジカメ　iPad
スマホ買ったけど
使いこなせない（＞＜。）
第2・4水曜日　午後7時～8時半
市民ひろばにて
1回1000円
【個別指導対応】
iPad、スマホの使い方、ワード、エクセル、
デジカメ、画像処理、3DCADの使い方等
連絡先：080-3061-1561（原田）

労働相談受け付けます！
三島ふれあいユニオン
首切り解雇、残業代未払い
職場でのパワハラ・セクハラ
ひとりで悩まないで相談してください
三島ふれあいユニオンは
全力であなたをサポートします
電話：090-4216-8417
Eメール：hrwsiys@yahoo.co.jp